

阿賀野川と共に 生きたあの頃

～風土と歴史が織りなす光と影～

(撮影:村上孟氏)

日時

平成23年10月29日(土)
10時～12時(開場:9時30分～)
(※ツアー参加の場合、昼食はさみ15時まで)

会場

安田公民館 大集会室
(阿賀野市保田4807-1、TEL 0250-68-3006)

内容

- 事務局プレゼンテーション
阿賀野川中流域の風土と地場産業の歴史
- 地元プレゼンテーション
未来に向かって～持続可能な取組を考える
- 「窯業と酪農を巡る」ツアー(※先着順)

申込方法など詳細は裏面をご覧ください。

草水石、安田瓦、川砂利、酪農、船頭、漁業…

かつて、阿賀野川中流域では、その独特の風土と歴史が生み出した、特色ある地場産業が盛んだった。

しかし、昭和40年代、新潟水俣病の発生を境に、「人と人の絆」や「人と自然の関係」が失われ、流域も低迷し始める。そして現在、地域の未来を切り拓くために、地場産業が様々な試みを模索する中…

あの頃の光と影の記憶を見つめ直し、 流域の未来へどうつなげていくか。



(カラー写真撮影:山口冬人氏)



(提供:小田製陶所)



(提供:熊倉猛氏)

主催:新潟県 共催:五泉市、阿賀野市 後援:新潟市、阿賀町
企画・連絡先:阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業事務局
(一般社団法人あがのがわ環境学舎内)

お問い合わせ TEL 0250-68-5424

当日プログラム(予定)

H23/10/29 (土) 10:00～12:00 (開場 9:30～)
 (※ツアー参加の場合、昼食はさみ 15:00 まで)

- 9:30 開場・受付開始
- 10:00 開会／オリエンテーション
- 10:15 事務局プレゼンテーション
「阿賀野川中流域の風土と地場産業の歴史」
- 10:45 地元プレゼンテーション
「未来に向かって～持続可能な取組を考える」
 - (有)小田製陶所 ●丸三安田瓦工業(株)
 - 五泉市咲花温泉観光協会 ●神田酪農
 - (一社)あがのがわ環境学舎
- 12:00 閉会 (※ツアー参加者はさらに下記日程)

- ◆ツアー参加者のみ昼食 (12:00～13:00)
- ◆「窯業と酪農を巡るツアー」(13:00～15:00)

会場地図

安田公民館 大集会室

(阿賀野市保田 4807-1、TEL 0250-68-3006)



午前 ● 講座定員 : **70 名** 先着順、定員を超えた場合は、連絡いたします。

午後 ● 窯業と酪農を巡るツアー (定員:30名) ●

午後の予約制ツアーです。参加希望の方は、本講座お申込みの際に、併せてお申込み願います。なお、先着順ですので、定員を超えた場合は、連絡いたします。

- 窯業
丸三安田瓦工業(株)
- 酪農
神田酪農

参加費 ● 講座参加:無料、 ツアー参加:1,000 円 (昼食代)

申込

期限: **10月26日(水)**

方法: 下記事項を FAX・メール・郵送、もしくは、お電話にてお申し込み願います。

ご氏名			
連絡先住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
ツアー参加	ツアーに参加する	ツアーに参加しない	(※希望項目に○)

※この事業の実施を目的とした用途以外に使用することはありません。

■お問合せ・お申込み先

阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業事務局

(一般社団法人あがのがわ環境学舎内)

〒959-2221 阿賀野市保田 3866 番地 1

TEL&FAX: 0250-68-5424

E-mail: aganogawa@niigata.email.ne.jp

■阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業とは？

一般的には「阿賀野川え〜とこたプロジェクト」(通称「FM事業」)。阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病問題に向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクト。